

大会名	第72回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会				チーム名	1Q	2Q	3Q	4Q	延長	合計
期 日	H30.6.2	会 場	TKCいちごアリーナ	試合No.	法 政 二 高	15	16	27	8		66
審 判	(主) 稲葉 威	(副) 武井 晋平	中島 弘幸	B 1	前 橋 育 英	20	17	25	22		84

法政大学第二高等学校(神奈川)

コーチ 鈴木 恭平 A・コーチ 高尾 尚平 マネジャー

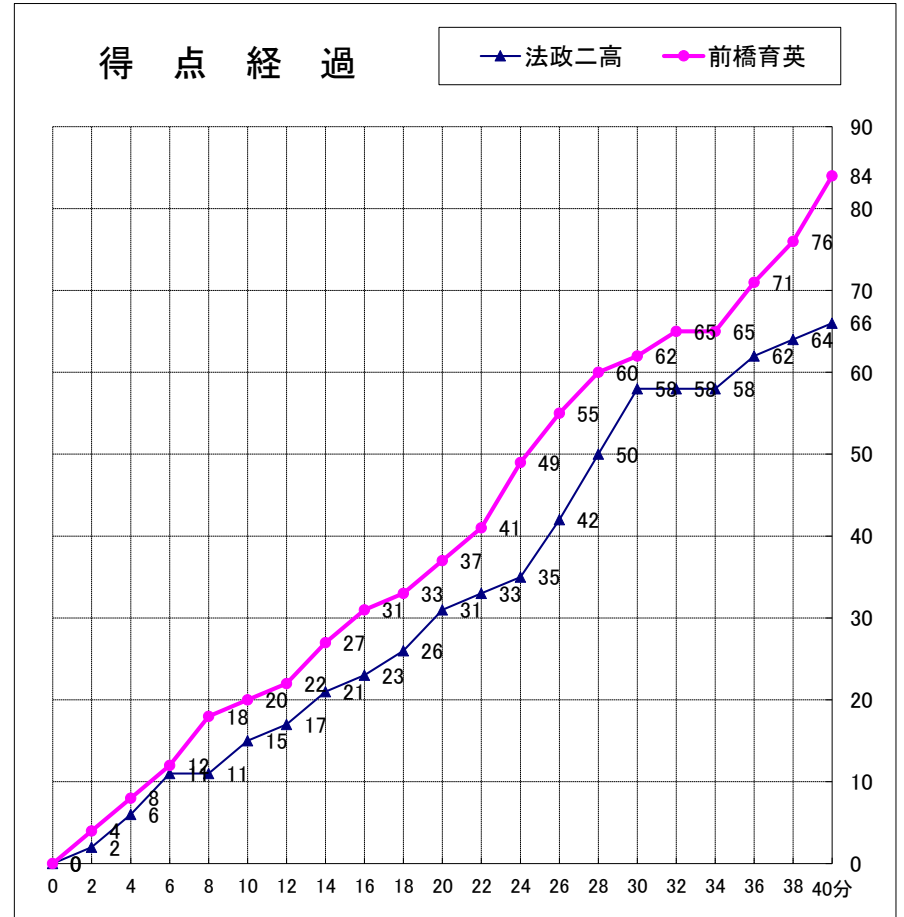
選手名	背番号	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド		
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	合計
武藤 一真	0											
今池 翔大	3	11	0	2	5	10	1	2	3	1	1	2
有賀 陸	4											
田中 一真	5	5	0	0	1	2	3	4	4	1	1	2
高嶋 隆之介	9	0	0	1	0	4	0	0	4	0	1	1
坂本 祥平	12	15	2	5	4	7	1	2	2	2	1	3
高野 洋平	14	4	0	2	2	5	0	0	3	1	3	4
佐藤 悠真	17	19	1	3	8	16	0	0	3	1	1	2
瀧田 恒平	18	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
吉澤 凌雅	30	0	0	3	0	1	0	2	1	1	4	5
皆藤 太郎	31	4	0	0	2	5	0	0	2	2	1	3
波多野 碧人	35	3	1	3	0	1	0	0	0	1	1	2
実方 亮	90	0	0	1	0	3	0	0	0	0	4	4
戸井 紳乃介	91	2	0	0	1	3	0	0	3	0	0	0
内田 涼太	94	3	1	3	0	1	0	0	2	0	0	0
チーム									0	6	0	6
合計		66	5	23	23	58	5	10	27	16	18	34
成功率			21.7%		39.7%		50.0%					

前橋育英高等学校(群馬)

コーチ 加賀谷 寿 A・コーチ 鈴木 隆之 マネジャー 永井 優斗

選手名	背番号	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド		
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	合計
近藤 虎ノ介	4	17	1	3	3	11	8	10	2	1	6	7
萩原 健斗	5	3	0	1	1	4	1	2	1	2	5	7
土田 昇平	6	11	1	2	4	7	0	2	1	5	2	7
入澤 翔	7	11	0	0	4	7	3	6	3	5	7	12
村上 翼	8											
齋藤 亮太	9											
鈴木 海都	10	3	0	0	1	3	1	2	1	0	2	2
野本 康悟	11	24	3	5	4	20	7	8	2	3	4	7
永井 優斗	12											
田中 勇颯	13	10	0	0	4	7	2	3	0	1	5	6
高橋 佑太	14											
船戸 海惇	15	5	0	0	0	2	5	6	0	2	3	5
渡部 輝	16											
石川 昂	17											
茂木 健太郎	18											
チーム									0	1	1	2
合計		84	5	11	21	61	27	39	10	20	35	55
成功率			45.5%		34.4%		69.2%					

得点経過



戦評

法政二対前橋育英のオープニングゲーム。独特の緊張感の中ゲームが始まる。前橋育英が#7入澤の合わせで先制点。ディフェンスはお互いにマンツーマン。前橋育英はインサイドに果敢にアタックし得点。対して法政二はピックからの3Pで返す。前橋育英は#7と#13のコンビネーションが冴える。1ピリは20-15前橋育英リードで終了。

2ピリ、序盤から一進一退の攻防が続くが、5分を過ぎたあたりから徐々に前橋育英のリードが広がる。残り3分49秒、法政二がこの試合初めてのタイムアウト。その後、法政二はアグレッシブなドライブから持ち直し、差を詰める。1分7秒、今度は前橋育英がタイムアウト。タイムアウト後、前橋育英#4近藤が3P。しかし、法政二#12坂本が直ぐさま3Pで返す。37-31前橋育英がリードして前半終了。互いに集中したプレーが多く見られ、引き締まったゲーム展開となる。

後半、お互いにハーフマンツーマンで始まる。法政二#12坂本のファストブレイクで先制点。対して前橋育英は#4近藤のジャンパーで返す。さらに#11野本のバスケン、3Pで差を広げる。残り5分、法政二は1-2-2のオールコートプレスからの3-2のゾーンディフェンスに切り替える。しかし、前橋育英は冷静に対応しリードを保つ。残り1分、法政二のブレイクが決まり、流れを掴む。前橋育英がタイムアウト。その後も法政二の勢いが止まらず、62-58の前橋育英4点リードで最終ピリオドへ。

4ピリ、開始2分互いに得点が入らない。この状況を打破したのが前橋育英#4近藤。バスケンでジャンパーを決める。その後は一進一退の攻防が続く。残り4分、4点差。法政二はチームファウルが5つを超える。前橋育英はインサイドをじわりじわりと攻める。リードが10点に広がったところで法政二がタイムアウト。しかし、前橋育英#11野本の3Pで差を広げ、最終スコア84-66前橋育英が勝利。開幕戦は前橋育英のリードで終了。

記入者 杉森 豪